

IT時事ネタキーワード「これが気になる！」(第143回)

2023年のキャッシュレス決済比率は39.3%に。今後の動向は？

2024.05.31



3月29日、経済産業省は「2023年のキャッシュレス決済比率を算出しました」にて、「キャッシュレス決済比率は39.3%、2025年の目標年に向け堅調に拡大」と発表した。これによると、経済産業省はキャッシュレス決済比率を2025年までに4割程度にする政府目標の達成に向けて、関係省庁と連携しつつキャッシュレス決済の推進に取り組んでおり、キャッシュレス決済比率を定期的に算出・公表してきたという。最新のデータである2023年のキャッシュレス決済比率は「39.3%」、2025年の4割達成に向けてあと0.7%程度まで「堅調に上昇」しているとしている。

キャッシュレス決済は堅調に推移。将来的に世界最高水準の8割を視野に

この連載でも「キャッシュレス決済」をたびたび取り上げている。2022年6月「加速するキャッシュレス決済。その理由と影響」あたりが代表的だ。経済産業省は2017年ごろから今後のキャッシュレス社会の在り方を検討、「未来投資戦略 2017」において「10年後(2027年)までにキャッシュレス決済比率を4割程度とすることを目指す」とした。その後、「キャッシュレス・ビジョン」(2018年)で、「大阪・関西万博」に向けた「支払い方改革宣言」をリリース、キャッシュレス決済比率4割の目標を万博開催年である2025年に前倒し、さらに将来的には世界最高水準の8割を目指していく、としていた。

冒頭に紹介した「2023年のキャッシュレス決済比率を算出しました」には「我が国のキャッシュレス決済額及び比率の推移」グラフが掲げられており、全体的に順調に伸びているのがわかる。

そもそも「キャッシュレス」とは？… 続きを読む